

No.	発表者氏名	発表者所属	演題名
P-1	楠 侑也	医療法人社団 三誠会 北斗わかば病院	長期療養患者のリハビリテーションにおける目標共有の重要性に気づくことが出来た一事例
P-2	奥山莉帆	医療法人偕行会 偕行会リハビリテーション病院	ADOCを使用した目標設定と介入により受傷前と比べて退院後生活の活動量が向上した症例
P-3	岩上佳央	偕行会リハビリテーション病院	ADOC-Hを用いた複合介入が生活内での麻痺手使用の一助となった症例への介入
P-4	山本実奈	大垣市民病院	外来患者にCOPMを活用し、目標の明確化と意識づけを強化したことで生活動作に変化が得られた症例
P-5	廣野 新	農協共済 中伊豆リハビリテーションセンター	人間作業モデル探索レベル成果評定法を用いて環境を見直して関わったことで、拒否傾向が軽減した頭部外傷の事例
P-6	山下祐司	コネクトスポット	小中学校との連携で取り組む不登校支援～保育所等訪問支援を活用した実践～
P-7	山田博子	石川県立中央病院	超低出生体重児における経口哺乳確立遅延の要因と支援について
P-8	中上聖子	小山田記念温泉病院	発達障がい児の日常生活を評価するアセスメントツールの検証
P-9	磯貝美希	大垣徳洲会病院	lateropulsionによる姿勢障害が遷延した一症例
P-10	村上大祐	静岡リハビリテーション病院	重度感覚障害を呈した視床出血症例3例の把持力調節～リアルタイムフィードバック装置を用いた検討～
P-11	後藤元久	JA岐阜厚生連 岐阜・西濃医療センター 西美濃厚生病院	コロナ禍の長期間のマスク装着が子ども達から奪ったもの～保育士へのアンケート調査を実施して～
P-12	永井 孝一郎	特定医療法人楠会 楠メンタルホスピタル	統合失調症患者の心理面に着目したアプローチでQOLの向上を目指し問題行動の防止を図った事例
P-13	渡邊赴寛	医療法人 成精会 刈谷病院	当院における、ギャンブル等依存症プログラムの取り組みについて
P-14	福井清美	金沢医科大学病院	当院における過去5年間のライントラブルに関するインシデント分析と取り組み
P-15	三島寧々	関中央病院	自宅復帰を目指したクライアントへの趣味活動に焦点を当てた作業に基づく実践
P-16	杉山貴俊	北斗わかば病院	重度障害者用意思伝達装置の使用時に脱字があるALS症例へのアプローチ
P-17	坂田崇好	朝日大学病院	術後消化器がん患者への人間作業モデルを用いた作業療法介入効果 一作業に関する自己評価改訂第2.2版の観点から一
P-18	吉野すみれ	医療法人社団清明会 静岡リハビリテーション病院	頸髄症患者への感覚フィードバック装置を用いた治療介入の試み
P-19	渡邊由賀里	大垣市民病院	ストレングスを生かしながら作業療法介入し右上肢切創術後機能回復を図れた一症例
P-20	建石光貴	朝日大学病院	急性期病院における就労支援 一作業療法士の役割について一
P-21	古桧山建吾	平成医療短期大学	通所介護事業所に勤務する女性療法士の地域連携と就労環境との関連性-ベイズ推定を用いて-
P-22	水野妃菜	社会医療法人厚生会 中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター	慢性期外傷性脳損傷例における社会的行動障害の評価指標の比較
P-23	出村 完	独立行政法人国立病院機構 金沢医療センター	失語症を呈した患者2例に対し、Paper版作業意思決定支援ソフトを用いた急性期からの取り組み
P-24	近藤舞由子	医療法人徳洲会 大垣徳洲会病院	地誌的見当識障害を認めたが自宅退院可能となった一症例 ～独居生活を送るために評価すべきこと～
P-25	若松和美	社会医療法人財団新和会 八千代病院	左半側空間無視と感覚障害を呈し、着衣障害が出現した症例に対して、注視と衣服の張りを強調することで改善が見られた一症例
P-26	杉山未希子	医療法人社団清明会 静岡リハビリテーション病院	頭部・視線の動きに着目した左半側空間無視症例の運転特性
P-27	浅野莉沙	平成医療短期大学	女子大学生の月経随伴症状の実態と教育的支援の動向
P-28	今井勝紀	サンビレッジ国際医療福祉専門学校	VR教材導入における学習意欲の調査報告

No.	発表者氏名	発表者所属	演題名
P-29	森島圭佑	河村病院	当院リハビリテーション専門職新卒職員の教育研修におけるアンケート調査
P-30	小笠原和将	社会医療法人財団新和会 八千代病院	指導者が作成したMTDLPシートを基に臨床思考の模倣指導を受けた評価実習生の不安の変化からの一考察 —実習生の不安を問う調査から 第二報—
P-31	児島 諒	河村病院	当院リハビリテーション専門職新卒職員のクリティカルパスにおけるアンケート調査
P-32	中矢裕俊	医療法人誠道会 各務原リハビリテーション病院	KTバランスチャートを活用した包括的支援により改善した脳卒中症例の特徴と傾向
P-33	荒木里菜	鈴鹿医療科学大学	ワーキングメモリ課題と握力運動の併用が脳活動に及ぼす影響
P-34	伊藤正敏	三重北医療センター菰野厚生病院	バーチャルリアリティ環境下での運転映像視聴時の視線解析の試み
P-35	西岡結稀	鈴鹿医療科学大学	バーチャルリアリティを活用した注意課題とTrail Making Testの関係性

発表時刻について：演題番号が奇数の場合は10:30～11:30、偶数の場合は12:00～13:00となります。